

中学校第2学年1組 国語科授業案

平成24年11月22日

場所 2年1組教室

授業者 吉岡浩一

【キーワード】	学習用語(人物像・人物設定・主題)	人物関係図づくり	対話メモ
---------	-------------------	----------	------

1 単元名 小説を深く読もうⅠ ～表現の奥を読もう～

2 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

登場人物の人物像を捉えさせるとともに、人物の設定の仕方に着目させ、小説の主題について自分の考えを広げたり深めたりさせる。

(2) 単元の評価規準【学カデザイン レベル4】

ウ 人物の設定の仕方に着目し、小説の主題について、自分の考えを広げたり深めたりしている。【読むこと】

イ 登場人物の会話や描写(心情、行動)に着目し、人物像を捉えている。【読むこと】

ア 課題や計画の決定・調整を協同して進めるとともに、学習の成果を言語生活に生かそうとしている。【学ぶ力】

エ 語句の文脈上の意味をとらえ、それらが文章中で果たしている役割を考えながら読んでいる。

【言語についての知識・理解・技能】

3 単元を貫く問い あなたは「走れメロス」の魅力をどれだけPRできるか？

4 生徒の実態

生徒は小説(物語)の学習において、1年次はしかけや伏線、暗示に注意しながら作品を味わうことを学んだ。また、小学校では、登場人物の関係性の変化を作品の展開に合わせて図で表現し読み味わう学習なども経験している。あらすじの理解が早く、文章中の言葉に込められた意味や書き手の意図を考える学習を好む生徒が多い。しかし一方で、部分的な表現に固執し、作品全体との関連を考えずに自分勝手な読みをする生徒もいる。また、登場人物の関係を、作品の主題と関連させて図解したり、人物配置を工夫して図解したりするまでには到っていない。

そこで本単元では、各自の考えをグループや全体で交流させながら作品の主題と関連させた人物関係図を作らせることにより、作品に対する各自の考えを広げたり深めたりさせたい。

5 内容

小説を学ぶ魅力の一つに、主題を多面的・多角的に解釈することが挙げられる。読み返すたびに新しい発見がある作品はそれだけ読者を惹きつけるものである。今回学習する「走れメロス」は、長年教科書に掲載されている名作であり、明るく歯切れの良い文章は、太宰治の作品としては一種独特の雰囲気を出している。シラーの叙事詩「人質」を基に太宰が小説化したとされているが、登場人物について詳細に叙述したり原作にはない登場人物を設定したりすることで、この作品をより味わい深いものに仕立て上げている。登場人物の人物像や登場人物の設定の仕方について考えさせるのに適した教材と言える。また、この作品は、主人公をどのように捉えるかによって主題も変わってくることから、主人公の定義や主題について考えることも有効である。

本単元では、「あなたは『走れメロス』の魅力をどれだけPRできるか？」という単元を貫く問いを設定し、この作品の魅力をPRする人物関係図を作成しようというパフォーマンス課題に取り組みさせる。テレビ業界には、4カ月に1度、大幅な番組改編の時期があり、そのPRの一環として、テレビ雑誌には新ドラマの人物関係図が掲載される。一概に人物関係図と称されるが、同じドラマであっても出版社ごとに関係図のレイアウトや掲載内容が異なっており、そこにドラマの魅力をどう捉えたかが反映されている。今回はその人物関係図づくりに取り組みさせる中で、各自の考えを適宜グループや学級で交流させることによって、作品に対する考えを広げたり深めたりさせたい。加えて、教室における学びが実生活・実社会と結び付いていることを実感させたい。

6 方法

(1) 学習用語(人物像・人物設定・主題)

本単元では、まず、数社のテレビ雑誌を比較させ、多くの雑誌に共通して掲載されているドラマPRの要素に気づかせる。具体的には、人物評、人物関係図、キャッチコピー、あらすじ、見どころ、放送局、放映時間などである。中でも今回は、人物評、人物関係図、キャッチコピーを、それぞれ人物像、人物設定、主題(一文要約)という学習用語として捉えさせ、本単元で何を学ぶのかを明示することにする。その後、実際に人物関係図づくりに取り組みさせること

で、学習用語を単なる知識として身に付けさせるだけでなく、その活用を図る。また、授業や単元の振り返りの際に学習用語を使用させ、学んだことの更なる自覚化・定着化を目指す。

(2) 単元で行う主な言語活動

- 人物設定の特徴を捉えるために、登場人物の人物関係を図解する。
- 人物設定の仕方や小説の主題について考えを広げたり深めたりするために、他者と対話する。
- 自分の考えを広げたり深めたりするために、発言内容をメモしながら、共感的・批判的に話したり聞いたりする。

7 単元の授業過程（全10時間）

過程	課題と内容 [言語活動]	時間	教師の指導・支援	評価とその方法
導入	1 学習用語を捉え、単元の見通しを持つ。	1	1-(1) 複数のテレビ雑誌を比較させ、作品のPRに必須の要素を取り出させる。 1-(2) 「問い」やパフォーマンス課題を知らせ、単元のゴールの姿を意識させる。	ア 課題や計画の決定・調整を協同して進めている。【発表・学習計画表】
	【問い】あなたは「走れメロス」の魅力をどれだけPRできるか？			
展開	2 本文を通読し、小説の舞台をつかもう。	1.5	2-(1) 登場人物に着目させながら通読させ、あらすじ、登場人物を確認する。	エ 語句の文脈上の意味をとらえ、それらが文章中で果たしている役割を考えながら読んでいる。【WS】 イ 登場人物の会話や描写に着目し、人物像を捉えている。【発表・WS】 ウ 人物の設定の仕方に着目し、小説の主題について、自分の考えを広げたり深めたりしている。【観察・発表・WS】
	3 登場人物の人物像を捉えよう。	1.5	2-(2) 小説のキーパーソンを挙げさせる。	
	4 人物関係図を作ろう。 [③図解表現する] [⑥対話する]	2	3 登場人物の会話や描写(心情、行動)に着目させながら、主な登場人物の人物像を、80字以内の人物評としてまとめさせる。 4-(1) 主人公の配置やグルーピング、関係性を表す言葉などを意識させながら、各自で人間関係図を作らせる。 4-(2) 各自が作った作品をもとに、グループで人間関係図を作らせる。	
	5 「走れメロス」の主題について、自分の考えを持つ。 [⑧共感的・批判的に話す・聞く]	1 本時	5-(1) 各グループの発表を聞き、小説の魅力(よさ)を最もよく表している人物関係図を選ばせる。 5-(2) 人物設定の捉え方の違いをもとに、小説の主人公や主題について再考させる。	
	6 小説のキーパーソンについて話し合おう。	0.5	6 小説の魅力を引き立てているキーパーソンは誰かについて、グループや学級で討論させる。	
	7 「走れメロス」の魅力をPRする人物関係図を作ろう。[③図解表現する]	1.5	7 これまでの学習をふまえ、再度各自で人間関係図を作らせる。その際、人物評や主題(一文要約)も書かせる。	
	展望	8 作品を交流し、自分の考えを広げたり深めたりしよう。	0.5	
	9 単元の振り返りをしよう。	0.5	9 「問い」に対する答えを自分の言葉で書かせるとともに、学習用語を参考にさせながら、単元で身に付けた力についてまとめさせる。	ア 学習の成果を言語生活に生かそうとしている。【WS】

8 本時の授業

(1) 本時の指導目標

登場人物の関係性をふまえ、小説の主題について、自分の考えを広げたり深めたりさせる。

(2) 本時の評価規準

ウ 人物の設定の仕方に着目し、小説の主題について、自分の考えを広げたり深めたりしている。【読むこと】

ア 友人と協同して学習を進め、課題を解決しようとしている。【学ぶ力】

(3) 本時に期待する生徒の学び

① 小説の主題について、人物同士の関係性をふまえ、他の部分と関連させながら、自分の言葉で表現している。

② 友人の発言に対して、共感的・批判的に聞き、賛同したり反論したりしている。

(4) 本時の授業過程【全10時間 本時7/10】

過程	学習活動と内容 【言語活動】	形態	教師の指導・支援	評価とその方法
導 入	1 前時までの学習を振り返り、本時の課題を確認する。	斉	1 各班の人物関係図を比較し、共通点や相違点をもとに、小説の魅力(よさ)を最もよく表している人物関係図を選ぶことを確認する。	
	課題:「走れメロス」の魅力(よさ)を最もよく表している人物関係図はどれ？			
	2 本時の学習に見通しを持つ。	斉	2 1時間流れ、発表や話し合いの時間配分を確かめることで、本時の学習に見通しを持たせる。	
展 開	3 各班の発表を聞き、課題に最も適した人物関係図を選ぶ。 【⑧共感的・批判的に聞く】	個 斉	3-(1) 各班に、人物関係図を作るにあたって工夫した点を1分以内で発表させる。 3-(2) 各班の発表を自分の考えと比較しながら聞かせ、そのキーワードを対話メモに書かせる。 3-(3) 課題に最も適した人物関係図に付箋を付けさせ、全体の傾向を可視化させる。	ウ 人物の設定の仕方に着目し、小説の主題について、自分の考えを広げたり深めたりしている。【WS(対話メモ)】
	4 各自が選んだ人物関係図のよさについて交流する。 【⑥対話する】 【⑧共感的・批判的に聞く】	斉 G	4-(1) 数名の生徒に選んだ理由を発表させ、判断の材料を明らかにさせる。 4-(2) 判断の材料を分類し、意見が分かれるものについて、班で話し合わせる。	ア 友人と協同して学習を進め、課題を解決しようとしている。【観察】
	例)・山賊は王の手下か？ ・この小説の中心人物は？ ・この小説の主人公は？	斉	4-(3) 各班の発表を自分の考えと比較させながら聞かせ、メモを取らせる。	ウ 人物の設定の仕方に着目し、小説の主題について、自分の考えを広げたり深めたりしている。【WS(対話メモ)】
展 望	5 本時の学習を受け、「走れメロス」の主題を一文でまとめる。	個	5 主語にあたる言葉を意識させながら(「走れメロス」「メロス」「王」など)、主題を一文で書かせる。	ウ 人物の設定の仕方に着目し、小説の主題について、自分の考えを広げたり深めたりしている。【WS】
	6 本時の学習を確認するとともに、次時の見通しを持つ。	斉	6 DL に授業の振り返りを発表させ、授業のねらいを明確化させるとともに学びの成果の自覚化を促す。	